

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス わかば			
○保護者評価実施期間	令和 8年 1月 13日 ~ 令和 8年 1月 23日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19家庭	(回答者数)	18家庭
○従業者評価実施期間	令和 8年 1月 13日 ~ 令和 8年 1月 23日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数)	13名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 1月 28日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	大きな公園が目の前ですぐに遊びに行ける。	天気のいい日は、できるだけ公園へ遊びに行くようにしている。子どもの主体性を意識し、子どもたちのリクエストに応えてザリガニ釣りや虫取りなどを行った。また、保護者からも体力づくりや外遊びもしてほしいという要望があり、それにも応える形で活動を取り入れている。	さまざまな遊び道具を用意し、子どもたちが自ら遊びの世界を創り出せるように見守っている。季節に合わせた自然遊び（落ち葉遊び、どんぐり集め、草花遊びなど）や、簡単な運動遊び（リレー、ボール遊び、おにごっこなど）も取り入れていく。
2	デイの療育室が広い。	雨の日でも室内でマットやトランポリンなどを使って遊べるよう環境を整えている。また、「選べる遊びスペース」を複数設けることで、子どもが自分で遊びを選ぶ経験を大切にしている。さらに、自主的に遊びを広げられるよう、遊具や道具の配置にも子ども目線で工夫をしている。	ルールのある遊びを楽しめるよう、順番や約束ごとを絵で示したり、並ぶ位置をテープで視覚化するなど、分かりやすい環境づくりを行っていく。また、片づけや準備を“お手伝い活動”として取り入れ、子どもが環境づくりに主体的に参加できるようにしていく。

3	子ども達に合った自由な遊びが出来る。	公園遊びなどの活動では、できるだけ子どもの意思を尊重し、行く・行かないを本人が選べるようにしている。また、自由遊びの時間を設けることで、友達と新しい遊びを見つけて、一人でも安心して過ごせる環境を整えている。	製作活動などで使える段ボールや空き容器を豊富に揃え、適宜玩具を入れ替えて飽きないよう工夫していく。子どもが自分で決めた遊びを実現できる体験を増やすことで主体性を育み、「できた！」「もう少しやってみたい」といった成功体験を積みやすい環境を整えていく。
---	--------------------	---	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	年齢層が幅広い為、支援学級や通常学級に通っている高学年の児童が物足りなさを感じている。	興味や遊びの幅が広く、集団遊びや製作が簡単なものになってしまふ。	子ども達それぞれの個性に合った集団で出来る遊びを考えながら。小グループや個の遊びを大切していく
2	子どもたちの遊びからの学びを大切にしているため、カリキュラムをできるだけ組まず自由な環境を重視している。そのため、集中的な療育を求めている保護者にとっては、物足りなさを感じられることがある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども主体の遊びや発見を大切にする方針のため、計画的・目標的な活動（カリキュラム中心の療育）が少なくなる。</li> <li>・自由度が高い反面、成果や進度を数値や目標で示しづらい。</li> </ul>	HPやSNS等で活動を報告していく、面談時にどのように子ども達が成長しているか共有する。子ども達が満足して帰宅できるようにして、保護者に安心感を与える
3			